

日水協県支部

# 宇管工と合同防災訓練

## 相互応援体制を強化

日本水道協会県支部(支部長・佐藤栄一宇都宮市長)は26、27の両日、合同防災訓練を開催した。県支部全事業体や宇都宮市と災害協定を締結している宇都宮市管工事業協同組合(和田均理事長)が参加。迅速な情報連絡体制の確立や各事業体の円滑な相互応援体制を強化するため、応援要請・情報伝達訓練や充水訓練、応急給水訓練などを実施した。県支部全事業体の参加は初となる。

訓練は宇都宮市で震度5強、県内の広範囲で震度5弱の地震が発生したことにより、宇都宮市の松田配水区、白沢配水区、今里配水区の配水管の一部が破損し市内複数地区で断水が発生したと想定。26日は県支部の全事業体と宇管工が各事務所で情報伝達・応援要請

訓練を実施。各事業体の被災状況、応援の可否や可否を確認し、集約した情報に基づいて応援を要請した。27日は給水車を所有している14事業体と宇管工から約80人が白沢浄水場(宇都宮市白沢町)に集合。支部からは宇都宮、足利、小山、鹿沼、佐野、下野、栃木、那須烏山、那須塩原、日光、真岡、矢板の12市、上三川町、芳賀中部上水道企業団の職員が参加。宇管工からは川中子武保専務理事、柿沼操理事、事業課の西村理憲課長や矢古宇義幸係長、総務課の三富裕介係長が出席した。



充水訓練に参加した宇管工

浄水場での充水訓練後、各事業体は上河内地区市民センター(宇都宮市中里町)、河内地区市民センター(宇都宮市中岡本町)、田原コミュニティプラザ(宇都宮市上田原町)にそ

れぞれ移動し、応急給水訓練を行った。

日本水道協会は水道の普及と健全な発展のための諸事業を行うことで、公衆衛生の増進に寄与することを目的に1932年5月に設立。水道事業の経営や水道技術、水質問題について調査研究を行うほか、水道用品の検査や給水器具の品質認証を実施。

また、国に対し水道に関する請願・建議を行うことで全国の水道事業者の諸問題解決を支援し、国民が将来にわたって安全で安定した水道が利用できるよう活動している。

日本水道協会県支部員は次の通り。

- ▽県▽宇都宮市▽足利市
- ▽大田原市▽小山市▽鹿沼市▽さくら市▽佐野市▽下野市▽栃木市▽那須烏山市▽那須塩原市▽日光市▽真岡市▽矢板市
- ▽宇都宮西中核工業団地事務組合▽芳賀中部上水道企業団▽上三川町▽塩谷町▽高根沢町▽那珂川町▽那須町▽野木町▽壬生町▽茂木町▽日光社寺水道事務所